

## 2022年度入試解説（英語）

### 1

#### 第1部

- [A] 女性が注文したものを答える問題。サンドイッチに挟むものとして、「bacon, lettuce, tomato, American cheese」と答えている。potato chips も注文しているが、品切れであるということなので、正解は①。
- [B] 会話の内容と合っていないものを答える問題。
- ① Man の最初の発話で「The title is called Freezing Point」と話している。
  - ② Man の最初の発話で「written by Ayako Miura」と話している。
  - ③ 後半部分で、「Is it well-known? — Yes!」という会話があるので、これが事実となる選択肢となる。
  - ④ Man の最後の発話で、「You should try reading this book」と話している。よって、正解は③。
- [C] Ken が Emma に長い間会えなかった理由を答える問題。
- Emma の2つ目の発話で、「I've been volunteering at Hirosaki Hospital.」と話しているので、正解は②。

#### 第2部

- [A] Bob は1日に何杯コーヒーを飲むのかという問題。
- 6文目に「He drank three cups of coffee and …」という文があることから、正解は②。
- [B] Bob はなぜ milk tea を飲んでみようとしなかったのかという問題。
- 9文目に「Bob has never tried a cup of milk tea before.」という文があることから、正解は②。
- [C] milk tea を飲むことから学んだことは何かという問題。
- 最終文で「Bob learned that a new experience may lead to a new joy.」という文があることから、正解は①。

### 2

- (1) の後で「4年間」と Stephen が答えているところから、「どれぐらい津軽三味線を弾いているの」と期間を尋ねる⑨が正解。
- (2) の前で Stephen が東京で津軽三味線を始めたと話し、(2) の後で Stephen が津軽三味線を弾きたいと思っただけを話していることから、「どのようにして津軽三味線に興味を持つようになったか」と尋ねる①が正解。
- (3) の前で東京で知ったバンドの話をしたのち、(3) の後でそのバンドのお気に入りの楽器の話をしているので「すぐにそのバンドが好きになった。」という④が正解。
- (4) の前で Hikari から「東京にも津軽三味線のいたのか」と尋ねられ、(4) の後で「彼女はとても親切だった。」と Stephen が話しているので、「良い先生がみつかった」という⑥が正解。

- (5) の前で津軽三味線と普通の三味線との違いを Stephen が説明してくれた後の Hikari の発言なので「私よりよく津軽三味線のことを知っているのね」という②が正解。

3

- 1 (1) ⑥ (2) ①

Now the people in the city ( are trying hard to keep the river clean ).

「努力しています」は現在進行形 are trying となり、「川をきれいに保つ」は keep を使って keep the river clean となります。「保とうと」は「保つために」と考えて to 不定詞の副詞用法で表現できます。

- 2 (3) ⑤ (4) ③

( Shall I make a cup of tea )?

「～しましょうか」と申し出る表現は Shall I ~? です。また、「1杯のお茶」は a cup of tea と言います。

- 3 (5) ③ (6) ④

I ( wish I could fly like a bird ).

「～できたらいいのに」は I wish I could ~ と表現します。また、like には「～のように」という意味があるので「鳥のように」は like a bird となります。

- 4 (7) ④ (8) ①

We ( will be able to enjoy space travel in ) the future.

「～できるでしょう」は未来を表す助動詞 will と「～できる」be able to ~ を組み合わせて will be able to ~ となります。また、「将来」は in the future と表現します。

- 5 (9) ⑦ (10) ②

I ( was so impressed that I started to search ) for Paralympics on the Internet.

so~that …で「とても～なので…」という意味になります。that のあとは主語+動詞が続くので I started となります。「調べ始めました」は「調べることを始めました」と考えて to 不定詞の名詞用法で表現できます。

- 6 (11) ⑧ (12) ④

I ( asked my friends what we should do to protect ) the earth.

「人に物事を尋ねる」は ask +人+物事の語順になります。この文での物事は「(私たちは) 何をすべきか」ということなので asked my friends what we should do とつながります。さらに英語は後から説明を加えていくので「地球を守るために」to protect the earth が続きます。

- 7 (13) ② (14) ⑥

Our baseball team ( made their dream come true last ) year.

「夢を実現する」は make ~'s dream come true と表現します。「去年」は last year なので上記の英文となります。

4

《全訳一意訳 (内容訳)》

私と夫は、旅行が好きです。1994年の夏に、私達は幼い我が子供たち二人を連れてイタリアの旅をしていました。その日の朝、私達はレンタカーを借りて、フィレンツェのホテルからアジジにむけて(1)車を走らせました。アジジは、聖フランシスコで有名で、世界の宝物が溢れている所です。

(2)実は、その日私達は北イタリアを巡る5日間の旅の最終日をむかえていました。私達は、その翌朝には、アメリカに帰ることになっていたのです。ですから、是非ともこの素晴らしい町を自分たちの目で見たかったのです。

その日は、晴天ですばらしい朝をむかえていて、私達家族は、喜びにあふれた巡礼者になった気分での旅を楽しんでいました。私は、そこへ向かう途中で、聖フランシスコの物語のいくつか読み聞かせてあげました。「この子供たちが、物語を理解してくれたのだろうか?」と私は、思いましたが、(3)自分の二人の子供たちが聖フランシスコのお話を理解したのか、私には確信がもてませんでした。けれども、おかげで、子供たちを静かにさせておくことができました。アジジでは、美しい教会堂や博物館を楽しむことができました。

しかし、その暑い一日が終わる頃に、(4)私わたしたちの二人の子供たちは、泣き始めたのです。一人は、食べた物を吐き出していました。もう一人は、お腹を下していました。私達は、みなライラし疲れ果てていて、フィレンツェまで戻るとしても3時間もかけて移動しなければならない状況に陥っていました。ペルージャ平原のある所まで来ると、休憩をとるためトラットリアに立ち寄りしました。私達は、不安になりながらも考えました。「臭くて、騒がしい子供を連れた私達を中に入れて休ませてくれるかしら?」と。恐る恐る私達は、食堂ホールへすすみ、子供たちを落ち着かせて何か(5)食べる物にありつければと願いました。

そのトラットリアの主人は、厨房から出てきて、私達を見るなり「ここで待って下さい。」と言って、厨房に戻りました。私達は、すぐにその場を立ち去るしかないのではと考えました。しかし(6)何をすべきか決めることができる前に、店の主人は、奥さんと十代の娘さんを連れて再び食堂ホールへ戻って来ました。彼らは、食堂ホールの奥の方からこちらの側へ歩み寄って来て、私達に微笑みかけ、両腕を広げて、「まあ、可愛い子供たちね!」と叫びました。彼らは、私達の腕から、子供たちを受け取り、食堂ホールの片隅にある落ち着いたテーブルに座るようにとってくれたのです。私と夫が、食事をしている間、彼らは、子供たち(7)の世話をしてくれました。娘さんの方は、下の子供を抱きかかえて、優しいイタリア語の歌で寝かしつけてくれました。お母さんの方は、上の子供に、アイスクリームを食べさせてくれました。店の主人は、私達が(8)よければ(彼らのところに泊まりたければ)一晩泊まっていとまで言ってくれたのです。彼らは、おもてなしの心を私達家族にしめしてくれたのです。

あの時私達は、本当に困っていたのです。幼い子供たちに(9)我慢の限界まで追い詰められる経験のある親であれば誰でも、故郷(自国)から遠く離れた異国で私達の体験したことが分かってもらえるでしょう。あの日確かに神様は、私達家族に天使たちを遣わして下さいだったのだと私は信じています。

《解答と解説》一長文問題の得点の合計は46点です。

1. 正解は drive (この動詞活用は、drive-drove-driven) 4点
2. 正解は In (fact) で、fact となります 4点
3. 自分の二人の子供たちが聖フランシスコのお話を理解したのか、私には確信ありませんでした。  
6点
4. [訳例] Both of my(our) children began to cry. / My(Our) two children began crying. 6点

5. 正解は② to-不定詞の形容詞的用法 3点

6. 正解は before (we could decide what to do), 6点

7. 正解は③of took(take) care of~, ~の世話をする、~の面倒を見る 3点

8. stay with them 3点

9. 正解は③ 4点

10. 正解は ア-④ イ-⑧ ウ-② エ-① オ-③ カ-⑥ キ-⑦ 各1点×7=7点